

☆公害による健康被害を許すな!

☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



モス 画:橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

大阪市此花区西九条1丁目4-9

高田ビル 〒554-0012

TEL 06-6463-8003

FAX 06-6463-8202

oskougai@coast.ocn.ne.jp

発行責任者 芹沢 芳郎

年間購読料一部2,000円(送料共)

郵便振替 00910-7-300387

街や環境へ、道路が与える影響の大きさを知らせていこう

11月8、9日、大阪市内(エールおおさか)で「21世紀の道路行政と健康・環境を考える」と

第34回道路公害反対運動全国交流集会が開催され、全国から48団体、168名が参加しました。

8日の全体集会で、道路公害反対運動全国連絡会の橋本良仁事務局長が基調報告し、「住民運動が行政の道路政策に一定の変化をもたらし、裁判による運動も広がっている。地球温暖化問題を、運動の重要なテーマに位置づけること」が強調され、

DVD「地球温暖化をとめて」が上映されました。

記念講演では鳥取大学農学部

の島田章則教授が、「ナノ粒子は肺内の血管に侵入し全身の臓器・組織(脳、心臓、生殖器など)および胎児に影響を与える可能性があると示唆する実験結果」を報告され、ナノ粒子の監視の必要性を強調されました。

特別報告で、東京大気汚染公害裁判弁護団の西村隆雄弁護士は、「昨年の勝利和解で都内ぜん息患者の医療費全額助成制度で2万人が救済されたことを紹介し、国レベルの新たな救済制度実現へ運動を強めよう」と訴

参加者の感想

「日本国中 津々浦々、大きな会場が溢れるくらいに関心の方がいること自体、異常なことだと言わざるを得ません。二日間しっかりと交流しましたが、あきらめないで声を上げ続けることが大切だとの結論でした。自動車に頼らないで健康の為に歩

えました。

西川榮一神戸商船大学名誉教授は、日本の大気汚染物質の環境基準が国際的にも低すぎ、機能不全におちいつていると指摘しました。



こうとか、無理に自動車ですくから運ばないで地産地消を大事にしようとか訴えていきたいと思いました」
(中津コーポ・田畑裕子)

「すさまじい『第二京阪国道』計画の建設現場を見て、改めて運動の大切さを考えました。資料や図面ではなく街や環境への道路の影響の大きさを知らせていくすべについても考えさせら

高速道路から世界遺産・平城京を守る会の小井修一事務局長は、「ムダな道路建設を推進し支えているのが道路特定財源だと指摘し、生活道路優先への転換、一般財源化を強く求める」と述べました。

9日は、3つの分科会(①まちづくりと道路問題 ②情報公開・裁判・公害調停 ③大気汚染と健康被害・患者救済)がひらかれ、運動の交流が行われました。

最後に「道路行政を抜本的に転換し、健康と環境を守り、安心・安全の新しい国づくりを」の国民へのアピールを採択しました。集会后、62名が建設中の第二京阪国道の工事現場をバスで見学しました。

(東住吉・松田安弘) れました」
(東京都三鷹市・長谷川茂雄)

「滅多に聞けない類の専門的講演を聴講できて有り難かったです」
(横浜市・柴田哲夫)

「各地積み重ねある発言で、大変参考になりました。道路問題をめぐる全体像を掴んでゆく上でも見通しが持てました」
(福山市・村井明美)